

かつしかの
伝統工芸

学んで彫って 伊勢形紙

2回
連続講座

伊勢形紙は着物の生地を染めるために用いられます。柿渋で貼り合わせた和紙に彫刻刀で精巧な文様を彫り込み、美しい模様を作り上げます。

本講座では、伝統工芸士である松井深喜子氏から伊勢形紙の魅力を学び、作品作りに挑戦します。



日時

令和8年

6月4日(木)・18日(木)

14:00~16:00

場所

立石地区センター

葛飾区立石3-1 2-1 (勤労福祉会館併設)

[対象] 区内在住・在勤・在学の
15歳以上の方

[定員] 20人

[参加費] 2,000円

[講師] 松井 深喜子 氏



日本の型染めのルーツ伊勢形紙

白子（現在の三重県鈴鹿市あたり）で発祥したといわれる伊勢形紙。現在も主に鈴鹿市を中心として生産されています。

しかし、その形紙に使われる和紙は、柿渋による独特の風合いと丈夫さを加味した美濃和紙（美濃国は現在の岐阜県）。そしてそれを元に作られるのが江戸小紋という、地域を越えた伝統産業のつながりがここに見られます。

これもひとえに、伊勢湾に面し、当時紀州藩によって手厚く保護された交易の要所として発展したことが大きいといわれています。



内 容

- [1回目] 伊勢形紙の解説
講師による実演
制作体験（しおり）
- [2回目] 制作体験（額装作品）



アクセス



立石地区センター
（立石3-12-1 勤労福祉会館併設）

- 京成電鉄 「京成立石」 駅下車 徒歩10分
- 都営バス 金町駅南口～浅草寿町
「梅田小学校」下車 徒歩5分
- 京成バス東京 亀有駅～新小岩駅
「葛飾区役所」下車 徒歩10分

申込方法

オンライン申請またはハガキに①～⑤をご記入のうえお申込みください。

- ① 「伊勢形紙」 ② 住所
- ③ 氏名（フリガナ） ④ 年齢 ⑤ 電話番号

5月22日（金）必着



申込み・問合せ先

〒124-8555
葛飾区立石5-13-1
教育委員会事務局
生涯学習課 区民大学係
Tel 03-5654-8475